

【報告事項】

令和4年度事業計画及び収支予算について

【基本方針】

世界中でコロナ感染の終息が見通せない中、ロシアによるウクライナ侵攻が世界的な産業構造や経済に大きな影響を及ぼす状況となっています。

このような中で競争力を高めるために必要な生産性の向上や多様な人材の活用、事業領域の見直しなど、各企業に共通する経営課題に取り組んでいきたいと思いをします。

また技能五輪全国大会の地元開催を目指した活動に取り組んでいきたいと考えます。

(1) 人材確保

人材採用についてはプロフェッショナル人材戦略拠点事業を通して、必要な人材の紹介を進めるとともに、人材紹介事業においても求職者の確保に取り組めます。

若手人材の採用と離職防止については、技能五輪全国大会の県内開催を実現することにより企業の技能向上を目指すとともに、若手技能者のモチベーション向上を実現したいと考えています。

(2) 財政基盤

みやぎ工業会の財政を支えているプロフェッショナル人材戦略拠点事業は全国的にも高い成果を挙げてきましたが、今年4月にマネジャーが交代しました。新たなマネジャーの元でも引き続き高い成果を出せるようサポートしていきたいと考えます。

またみやぎ工業会として今後、どのような事業を受託できるか国や県の施策を把握しながら検討していきたいと思いをします。

(3) 会員増強

コロナ感染防止により低下した会員サービスを見直し、退会数を減らすとともに入会企業を増やす施策に取り組むたいと思いをします。

工業会の中で自社をPRする仕組みの構築や生産性向上の事例紹介、会員同士の交流機会の提供などに取り組むとともに、技能五輪の開催活動ともリンクしながら入会勧誘に取り組むたいと思いをします。

【委員会活動】

(1) 政策委員会

技能五輪全国大会の開催実現に向け、競技に関連する団体への説明と協力要請に取り組みます。また地元開催で見込まれる参加競技や経済効果、準備期間など、具体的な構想の作成に取り組んでいきたいと思ひます。

東北大学とのビジネスマッチングについては農学研究科との連携を深め、会員企業に情報の共有化を行うとともに、事業化につなげていきたいと思ひます。

(2) 総務委員会

定時総会に上程する案件について事前確認をおこない、適切な内容となるよう修正します。

またみやぎ工業会の事業運営を効率的に行えるよう、社会動向も加味して規定類を見直していきます。

(3) 交流推進委員会

コロナの感染防止を最優先したうえで、会員同士の交流を進めたいと思ひます。ゴルフ大会は感染リスクが少ないことから今年度も開催するほか、できれば納涼祭やMIA 倶楽部での交流会も実施したいと考えています。

また新春産学官交流大会での交流会についてはコロナ感染の状況を把握しながら、協賛団体と十分協議したうえで開催の可否を決めたいと思ひます。

(4) 技術交流委員会

技能五輪全国大会の招致にあたって、技術的な観点から構想を作り上げていきたいと思ひます。

企業見学会については、見学先の意向や参加人数の制限などの条件を考慮して開催の検討を行っていききたいと思ひます。

産学連携については東北大学農学研究科からの情報を共有し、新規事業の可能性を広げたいと思ひます。

(5) 情報委員会

年2回発行の機関紙には講演会での説明や受託事業の進捗報告などのほか、会員企業の紹介などについても掲載していききたいと思ひます。

また会員企業から会員向けに発信ができるような、新たな仕組みを検討していききたいと思ひます。

(6) 経営基盤委員会

技能五輪大会の開催を目指し、若手技能者の技能向上計画を検討していきます。

また人材の採用や離職対策、基幹システムの見直しや生産性の向上など、共通する課題について検討していきます。また政府が進めようとしているデジタル人材の育成についても、各社のニーズを把握して取り組みたいと思ひます。

【受託事業】

(1) みやぎ優れ MONO 発信事業

15 回目となるみやぎ優れ MONO 認定品候補の発掘に取り組むとともに、認定に向けて企業を支援していきます。

また既にみやぎ優れ MONO に認定された企業に対して、認定製品の販路拡大に向けた各種支援を行ってまいります。

(2) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

これまでの成果を継続できるよう活動を進めるとともに、プロフェッショナル人材紹介事業の他に、リソースが限られる地方の人材不足の解決法として期待される副業・兼業人材活用の支援についても取り組んでまいります。